

問1 日本の経済成長率に大きな影響を与えた出来事とその時期の経済状況の説明として、背景や因果関係が最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 1970年代の石油危機は、日本が低成長から高度経済成長へと移行するきっかけとなった。 | 2. バブル経済の崩壊により、資産価格の下落とともに企業の投資や個人の消費が冷え込み、長期間の低成長を招いた。 | 3. 2008年の世界金融危機により、世界的な需要が高まったことで、日本の経済成長率は過去最高水準まで上昇した。 | 4. 1960年代は、バブル経済の影響によって経済成長率が初めてマイナスを記録し、経済が混乱した時期である。 |
|---|---|--|--|

問2 日本の諸都市の気象データにおいて、一月の平均気温が十度前後と高く、かつ七月の月降水量が三百五十ミリメートルを超える非常に多い降水量を示す都市として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 札幌市 | 2. 宮崎市 | 3. 金沢市 | 4. 大阪市 |
|--------|--------|--------|--------|

問3 1858年に日米修好通商条約が締結され、横浜などの港で本格的な貿易が開始された際、当時の日本において最大の輸出額を記録していた商品は何ですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|------|-------|-------|--------|
| 1. 茶 | 2. 生糸 | 3. 綿糸 | 4. 絹織物 |
|------|-------|-------|--------|

問4 日本などの中緯度地域の上空において、一年を通じて西から東に向かって絶えず吹いている強い風を何といいますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|---------|----------------|--------|
| 1. 偏西風 | 2. 上昇気流 | 3. 季節風 (モンスーン) | 4. 貿易風 |
|--------|---------|----------------|--------|

問5 1975年に第1回主要国首脳会議 (サミット) が開催され、1991年にソ連が解体されるという歴史的な流れの中で、1989年にアメリカとソ連の首脳が冷戦の終結を宣言した出来事は何と呼ばれますか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|----------|----------|-----------------|
| 1. ポツダム会談 | 2. マルタ会談 | 3. ヤルタ会談 | 4. サンフランシスコ平和会議 |
|-----------|----------|----------|-----------------|

問6 日本の多くの自治体が、Iターンによる移住者を積極的に受け入れようとしている背景や目的について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 地方の地価を都市部と同等水準まで引き上げ、国全体の経済成長率を均一にする必要があるから。 | 2. 情報通信技術 (ICT) の普及により、全ての職種において都市部で働く利点が完全になくなったから。 | 3. 都市部の深刻な住宅不足を解消するため、政府が都市住民の強制的な移住を計画しているから。 | 4. 人口減少や高齢化が進む地域において、新たな労働力を確保し、産業を維持することで地域活性化を図るため。 |
|---|--|--|---|

問7 宮城県沿岸部ではカキの生産が非常に盛んであり、全国の生産量の約六割を占めるという統計もあります。この地域において、カキの養殖がこれほどまでに発達した理由について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. リアス海岸の急峻な崖によって日照時間が制限されることが、カキの身を大きく太らせるために必要な環境条件と一致しているため。 | 2. 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。 | 3. 稚貝を人工的に孵化させたあとに一度外洋へ放流し、成長して再び戻ってきた個体を効率よく捕獲する仕組みが確立されているため。 | 4. 広大な大陸棚が広がっており、寒流と暖流がぶつかる潮目 (潮境) が近いので、網を使って一度に大量の貝を捕獲できるため。 |
|---|---|---|--|

問8 ある地域の浸水想定区域や土砂災害の危険箇所、避難場所などが色分けして示された資料を活用する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 観光客が効率よく地域の景勝地を巡ることができるよう、最短経路を周知するため | 2. 土地の正確な標高や傾斜を測定し、大規模な公共施設の建設費を算出するため | 3. 住民が居住地域の災害リスクを事前に把握し、避難行動や備えに役立てるため | 4. 過去の土地利用の変遷を記録し、歴史的な街並みを保存する計画を立てるため |
|--|--|--|--|

問9 日本の過疎地域において、人口の極端な減少が地方自治体の財政に与える影響として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 自治体の主な財源である地方税の収入が減少し、公共サービスやインフラの維持が困難になる | 2. 若年層が流出して高齢化が進んだとしても、国庫支出金のみですべての公共サービスを賄うことができる | 3. 居住する住民の数が減ることで、行政サービスの需要がなくなり、財政状況は大幅に改善される | 4. 人口密度が下がることでインフラ整備の必要性がなくなり、地方債を発行して借金を返す必要がなくなる |
|---|--|--|--|

問10 日本の工業統計において、愛知県を中心に、工場が極めて高い密度で集中している地域が見られます。この地域では自動車工業が特に盛んですが、日本最大の製造品出荷額を誇るこの工業地帯の名称を選択してください。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 北九州工業地帯 | 2. 阪神工業地帯 | 3. 京浜工業地帯 | 4. 中京工業地帯 |
|------------|-----------|-----------|-----------|

問11 当時の貿易統計において、輸出額の約8割を生糸と茶が占めていた背景として、日本がどのような対応を行っていたと考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 海外から輸入された安価な生糸を横浜港で集積し、他国へ転売する中継貿易が中心であった。 | 2. イギリスから輸入した綿糸を国内で加工し、生糸として再輸出する加工貿易を推進した。 | 3. 欧米諸国で需要が高まっていた生糸を確保するため、農村では養蚕や製糸業が盛んになった。 | 4. 国内の絹織物需要を抑制するために、政府が国民に生糸のままでの販売を強制した。 |
|---|---|---|---|

問12 インターネット上の膨大な情報に向き合う際、情報の真偽を確かめる態度の重要性が強調されています。このようにメディアリテラシーが強く求められるようになった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. コンピューターやインターネットを使いこなせる人とそうでない人の間で、情報の取得量に格差が生じているから。 | 2. 知的財産権を保護するために、著作権のある情報を無断で複製したり配布したりすることを防ぐ必要があるから。 | 3. インターネット上では誰もが手軽に情報を発信できるため、誤った情報や偏った見解が混じることがあるから。 | 4. SNSなどを通じて個人の氏名や住所などの情報が外部へ漏れ出し、悪用される危険性が高まっているから。 |
|---|--|---|--|

問13 情報化社会の進展に伴い、「新しい人権」の一つとして重要視されている、自分の私生活に関する情報を勝手に公開されない権利や、自分の情報をコントロールする権利を何といいますか。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|----------|---------|----------|
| 1. プライバシーの権利 | 2. アクセス権 | 3. 知る権利 | 4. 表現の自由 |
|--------------|----------|---------|----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 バブル経済の崩壊により、資産価格の下落とともに企業の投資や個人の消費が冷え込み、長期間の低成長を招いた。	1980年代後半からの過剰な投機によるバブル経済が1991年頃に崩壊すると、株価や地価が急落し、日本経済は深刻な不況に陥りました。これ以降、企業や家計の心理が慎重になり、経済成長率は低水準にとどまる「失われた30年」とも呼ばれる状況が生まれています。2008年の世界金融危機では輸出の減少などから大幅なマイナス成長となるなど、外部要因による変動も激しくなっています。
問2	答え 2 宮崎市	太平洋側に位置する宮崎市は、沖合を流れる暖流の黒潮（日本海流）の影響を受けるため、冬でも一月の平均気温が十度前後と温暖な気候になります。また、夏から秋にかけては、湿った南東の季節風や台風の影響を強く受けるため、七月の降水量が三百五十ミリメートルを超えるなど、全国的にも極めて降水量が多いのが特徴です。札幌市は一月の気温が氷点下となり、金沢市は冬の降水量が多く、大阪市は宮崎市ほどの降水量には達しません。
問3	答え 2 生糸	幕末の開港後、日本の貿易では輸出が生糸、茶、次いで海産物などの順で多く、特に生糸は全輸出額の過半数を占める最大の品目でした。主な取引相手国はイギリスであり、日本からは原料（生糸）を出し、欧州からは産業革命によって大量生産された綿織物や毛織物などを輸入するという構造になっていました。
問4	答え 1 偏西風	地球の中緯度地域の上空では、一年中一定の方向に強い風が吹いています。この風は西から東へと流れており、日本付近の天気が西から東へと移り変わる主な要因となっています。低緯度（赤道付近）で吹く貿易風や、季節によって吹く向きが変わる季節風とは区別する必要があります。
問5	答え 2 マルタ会談	1970年代から2000年代にかけての世界情勢において、冷戦の終結は極めて重要な出来事です。1989年のマルタ会談によって冷戦が終わったことで、その2年後の1991年におけるソ連の解体、さらにはその後の東欧諸国の民主化やEU（欧州連合）の拡大へとつながっていきました。マルタ会談やボツダム会談は第二次世界大戦の終結に関連する会議であり、時期が大きく異なります。
問6	答え 4 人口減少や高齢化が進む地域において、新たな労働力を確保し、産業を維持することで地域活性化を図るため。	地方では若年層の流出にともなう人口減少と、それに付随する労働力不足が深刻な課題となっています。Iターンによる移住を促進することで、農業や地場産業などの新たな担い手を確保し、地域の経済やコミュニティを維持する「地域活性化」を目指す動きが全国の自治体で広がっています。
問7	答え 2 入り組んだ湾内は波が静かで設置したいかだぐが壊れにくく、さらに山からの栄養分が流れ込むことで餌となるプランクトンが豊富であるため。	リアス海岸の入り組んだ地形は、養殖に必要ないかだを安定して浮かべるための静かな水面を提供します。また、背後に迫る山々から川を通じて森の栄養分が海へ流れ込み、カキの餌となるプランクトンが大量に発生することも、全国有数の生産量を誇る重要な要因です。潮目での漁獲は沖合漁業の特徴であり、一度放流してから捕る方法は「栽培漁業」の説明です。
問8	答え 3 住民が居住地域の災害リスクを事前に把握し、避難行動や備えに役立てるため	被害想定区域などが示された地図（ハザードマップ）は、平常時から自分の住む場所にどのような危険があるかを確認し、いざという時の避難先や経路を家族で話し合っておくために利用されます。これにより、災害発生時のパニックを防ぎ、迅速な避難につなげることが最大の目的です。地形図や土地利用図とは異なり、防災に特化した情報が盛り込まれています。
問9	答え 1 自治体の主な財源である地方税の収入が減少し、公共サービスやインフラの維持が困難になる	過疎化が進むと、主な担い手である若年層が都市部へ流出し、自治体の自主財源である地方税の収入が減少します。一方で、道路や水道などのインフラ管理、高齢者福祉などの行政サービスには一定の費用がかかり続けるため、収入の減少は自治体の財政を圧迫し、公共施設の適切な規模維持やサービスの継続を難しくさせます。
問10	答え 4 中京工業地帯	愛知県は世界的な自動車メーカーの本拠地があり、その周辺にはエンジンやブレーキなどの製造に関わる数多くの部品工場が集まっています。このような産業の集積により、愛知県を中心とする中京工業地帯は、日本の工業地帯・地域の中で長年にわたり製造品出荷額第1位を維持しています。
問11	答え 3 欧米諸国で需要が高まっていた生糸を確保するため、農村では養蚕や製糸業が盛んになった。	当時、ヨーロッパでは蚕の病気が流行してシルクの原料が不足しており、日本産の生糸に対して強い需要がありました。これに応える形で、信州（長野県）や上野（群馬県）などの農村部では、輸出用の生糸を作るための養蚕や、繭から糸を取り出す製糸業が急速に発展しました。これが後の明治政府による富国強兵・殖産興業政策における、外貨獲得の重要な基盤となりました。
問12	答え 3 インターネット上では誰もが手軽に情報を発信できるため、誤った情報や偏った見解が混じることがあるから。	情報の真偽を確かめる態度が必要なのは、発信源が多様化したことで、必ずしも正確ではない情報が拡散されやすくなったためです。批判的に情報を読み取ることで、特定の意図に惑わされずに状況を判断することが可能になります。なお、他の選択肢にある情報格差（デジタル・デバイド）や情報漏洩も情報化社会の課題ですが、メディアリテラシーの直接的な説明とは異なります。
問13	答え 1 プライバシーの権利	表現の自由などは憲法に直接規定されている伝統的な権利ですが、プライバシーの権利は高度情報化社会において個人の私生活を守るために強く意識されるようになった新しい人権の代表例です。当初は「私生活を公開されない権利」という意味が強かったですが、現在では「自分の情報を自分で管理する権利」という側面も重視されるようになっています。